

# 「かなしい」と「つらい」の意味について

加藤恵梨（名古屋大学留学生センター）

## A Semantic Analysis of *kanashii* and *turai*

Eri Kato (Education Center for International Students, Nagoya University)

### 1. はじめに

意味が類似していると考えられる「かなしい」と「つらい」という感情形容詞について、『現代日本語書き言葉均衡コーパスモニター公開データ（2009年度版）』などを基に<sup>1</sup>、それぞれの語の意味と、両語の意味の類似点および相違点を明らかにする。

### 2. 「かなしい」の意味分析

はじめに、「かなしい」の意味を分析する<sup>2</sup>。

#### 2.1 先行研究の記述とその検討

森田（1977: 166）は「かなしい」の意味を次のように記述している。

かなしい〔悲しい〕

不幸な状況に接し、心が痛む気持ちである場合に使うが、そのような気持ちを人々に起こさせる事物にも言う。

「父の死が悲しい」「親友に裏切られるとは悲しいよ」「悲しい最期」

続いて、『学研国語大辞典（第二版）』（1988: 363）は「かなしい」の意味を次のように記述している。

---

<sup>1</sup> 例文の後に出典と「\*」が付してあるものは『現代日本語書き言葉均衡コーパスモニター公開データ（2009年度版）』からの引用であることを示す。

<sup>2</sup> 『使い方の分かる類語例解辞典』（2003: 246）は、「かなしい」には「悲しい」と「哀しい」という漢字表記があるとし、「悲しい」は「好ましくない事態に接し、心が痛むさま」を表し、「哀しい」は「かわいそうで哀れに思う気持ち」を表すと記述している。しかし、実例を見ると、必ずしも漢字表記の違いによって意味が異なるということはいえない。

・側に行って「昌太」と言って首を撫でたら冷たかった。やはり本当に死んでしまったのだ。とても哀しかった。涙が出そうになったが我慢をした。（ターキーの気まぐれ日記\*）

上の例は、かわいがっていた馬が死んだことに「哀しい」と感じている。これは『使い方の分かる類語例解辞典』の言う「好ましくない事態に接し、心が痛むさま」を表し、「かわいそうで哀れに思う気持ち」を表しているとは考えられない。このように、「かなしい」の漢字表記の違いが必ずしも「かなしい」の意味の違いに対応しているとは考えられないため、本研究では「かなしい」の意味の違いと漢字表記の違いが関係しているとは考えず、「かなしい」の意味を分析する。

かなしい〔悲しい・哀しい〕

- ① 〔自分の無力や不幸を痛感して、あるいは他人の不幸に同情して〕胸がきつくしめつけられて、泣きたくなるような気持ちだ。

「時々わかったかわかったかと念をおして聞かれるが、大方それがよく分らぬので妙に一・かった」

- ② 胸がしめつけられて泣きたくなるような気持ちを起こさせる。あわれだ。

「新しきインクのにほひ栓抜けば 飢ゑたる腹に 沁むが一・しも」

上のように、森田は「かなしい」の意味を「不幸な状況に接し、心が痛む気持ちである」と記述し、『学研国語大辞典（第二版）』は「胸がきつくしめつけられて、泣きたくなるような気持ちだ」と記述している。次の例(1)のように、父母、兄弟などの親しい人を失ったことで「かなしい」という感情が生じている場合、森田や『学研国語大辞典（第二版）』の記述で「かなしい」の意味を説明できる。しかし、次の例(2)のように、話し手がやるべきであると考えていることを不動産・建設業界がやろうとしないことに「かなしい」と感じている場合、「かなしい」は「心が痛む気持ち」あるいは「胸がきつくしめつけられて、泣きたくなるような気持ち」というような強いマイナスの感情を表しているとは考えられない。よって、「かなしい」の意味記述について再度検討する必要がある。

- (1) 世の中に、なにが悲しいとって、父母、兄弟、姉妹、そのほか親しい人たちを失うことぐらい悲しいものはありません。

(森岡美子『萬葉集物語』富山房インターナショナル p.99)

- (2) 物理的・経済的に耐用年数の長い優良な社会資産を築き、暮らしやすく文化度の高い街を形成していくなど、不動産・建設業界には、もっともっと、やるべきことがたくさんあるはずです。

私にいわれなくとも、こんなこと、個人レベルでは業界のだれもが気づいていること。

しかし悲しいかな、そんな当たり前が当たり前でないのが、まだまだ業界の常識、なのです。(住宅購入学入門\*)

## 2.2 「かなしい」の意味分析：〈思いと異なる良くない事態に〉〈気持ちが沈む〉〈さま〉

- (3) 世の中に、なにが悲しいとって、父母、兄弟、姉妹、そのほか親しい人たちを失うことぐらい悲しいものはありません。(= (1))

- (4) 女の子にとって髪はすごく大切。どんどん抜けていく悲しい気持ち、わからないでしょう。(中日新聞 2008年8月5日)

- (5) 私は結婚相手を探そうとまじめに合コンに参加したのですが、いい加減な態度に接

して悲しい思いになりました。 (吉良友佑『お見合い1勝99敗』PHP新書 p.85)

例(3)は「親しい人たちを失う」こと、例(4)は大切な髪の毛が「どんどん抜けていく」ことに「かなしい」と感じている。よって、例(3)と(4)は、大切なものを失うことによって「かなしい」と感じていると言える。続いて例(5)は、合コンでまじめに結婚相手を探したいという話し手の思いと異なり、他の参加者が「いい加減な態度」であったことに「かなしい」と感じている。例(5)は、話し手の思いと異なる良くない事態に「かなしい」と感じていると言うことができる。例(3)と(4)の、大切なものを失うということも、失いたくないという話し手の思いに反して大切なものを失うことであると考えられるため、例(3)から(5)は、話し手の思いと異なる良くない事態に「かなしい」と感じていると考えられる。

(6) どうしようもなく悲しくて、落ちこんでしまったら、いのちの110番に電話で相談しよう。  
(小野垣義男『心のけんこう』文芸社 p.15)

(7) 私の幸せは突然に終わりを告げたんだ。悲しくて悲しくて何をしてもやる気が出てこなかった。彼のことを思うといつも涙が流れた。

(長原千代・小百合ロメイ『Friends』文芸社 p.243)

例(6)に「悲しくて、落ちこんでしまったら」とあることから、「かなしい」は話し手の思いと異なる良くない事態に気持ちが沈むさまを表していると考えられる。また、例(7)の「悲しくて悲しくて何をしてもやる気が出てこなかった」というのは、話し手の思いと異なる良くない事態に気持ちが沈み、何かをしようという積極的な気持ちが生じない状態を表していると考えられる。よって例(6)と(7)から、「かなしい」は、話し手の思いと異なる良くない事態に気持ちが沈むさまを表すと言うことができる。

例(3)から(7)は話し手の身の上の上に起きたことに対して「かなしい」と感じているものがあるが、次の例のように、他者の言動などに対して「かなしい」と感じているものもある。

(8) 物理的・経済的に耐用年数の長い優良な社会資産を築き、暮らしやすく文化度の高い街を形成していくなど、不動産・建設業界には、もっともっと、やるべきことがたくさんあるはずです。

私にいわれなくとも、こんなこと、個人レベルでは業界のだれもが気づいていること。

しかし悲しいかな、そんな当たり前が当たり前でないのが、まだまだ業界の常識、  
なのです。 (= (2))

(9) ラクをして大学に入る、ということしか眼中にない青春というのは、哀しいものだ。  
目標があれば、そのために努力する。それが自然な生き方だろう。何か目標があり、  
そのために大学に入りたいというのであれば、その分野の勉強をするのは当然のことだ。  
(パパは塾長さん\*)

例(8)は文中に「不動産・建設業界には、もっともっと、やるべきことがたくさんあるはずです」とあるように、話し手がやるべきであると考えていることを不動産・建設業界がやろうとしないことに「かなしい」と感じている。続いて例(9)は、話し手は「目標があれば、そのために努力する」ということは「当然のことだ」と思っているため、話し手の考え方とは異なる「ラクをして大学に入る」という考え方に「かなしい」と感じている。よって、例(8)と(9)の「かなしい」においても、話し手の思いと異なる良くない事態に気持ちが沈むさまを表していると言することができる。例(8)と(9)は、先程見た例(3)から(7)のように話し手の身の上が生じたことに関して「かなしい」と感じているのではないため、気持ちの沈む程度が例(3)から(7)に比べて低いと考えられる。

(10) 彼らヤンキーの多くは決して性格が曲がっているわけではない。むしろ真っ直ぐ、哀しいほど真っ直ぐなゆえ、一般には「摩擦」と呼ばれる現実に直角に激突してしまうのだ。しかしいかんともしがたい現実に彼らの真っ直ぐは木っ端微塵に吹き飛ばされてしまう。そうして不器用なまでに現実と無謀な格闘を重ねていくにつれ、その美しい正中線は徐々に直線としての形状を保てなくなってしまうのだ。

(中林あきお『泣き虫男、歩いて日本一周してきます』樫出版社 p. 32)

(11) ルートヴィヒ二世が十九歳でバイエルン王に即位したとき、その輝くような美貌は、まさに地上に降り立った神のようだと讃えられた。その澄んだ瞳は哀しいまでに青く、目鼻立ちは女性のように整っていて、彼の乗った馬車が通ると、女たちは思わずうっとりとして見とれたという。(中略)ワーグナーも彼を、「あまりに美しく、夢のように消えてしまわぬかと心配だ。彼こそ私の幸運のすべて。彼がもし死ねば、私も次の瞬間に死ぬ」と書き記している。

(桐生操『世界史 怖くて不思議なお話』PHP 文庫 pp. 213-214)

例(10)は、ある人達の性格について「哀しいほど真っ直ぐ」であると表現している。話し手が好ましく感じている人達の性格があまりに真っ直ぐであるため、現実に臨機応変に対応できず、現実と「直角に」あるいは「不器用なまでに」格闘してしまい、その結果「木っ端微塵に吹き飛ばされてしまう」といった良くない事態となることを「かなしい」と感じていると考えられる。続いて例(11)は、ある人の瞳について「哀しいまでに青く」と表現している。文中に「あまりに美しく、夢のように消えてしまわぬかと心配だ」とあるように、ある人の美しい瞳がこの世のものとは思えないくらい澄んだ青色であるため、夢のように消えてしまうといった良くないことが生じるのではないかと思ひ、気持ちが沈むさまを「かなしい」と表していると考えられる。例(10)と(11)のように、好ましく思っている人の身に良くないことが起きる、あるいは起きる可能性があるというのも、話し手の思いと異なる良くない事態であり、そのことに気持ちが沈むさまを「かなしい」と表していると言える。

以上から、「かなしい」の意味は〈思いと異なる良くない事態に〉〈気持ちが沈む〉〈さま〉と記述することができる。

### 3. 「つらい」の意味分析

次に「つらい」の意味を分析する。

#### 3.1 先行研究の記述とその検討

森田（1977：308）は「つらい」の意味を次のように記述している。

つらい〔辛い〕

ある状況に置かれて、または、ある事が原因して精神的に耐えられないほど苦痛を感じる状態。

上の意味記述に加え、次のように説明している（森田 1977：308-309）。

「咳が出てつらい」「ずっと立ちっ放しでつらい」のように生理的、身体的な原因もあるが、多くは「つらい仕打ち」「つらく当たる」「部下の首を切るのはつらい」のように精神的なむごさ・悩みに由来する当人の苦悶状態に言う。「立ちっ放しでつらい」も足の苦しさを言うのではなく、そのような状況に置かれた当人の肉体的、精神的ストレスに対する苦しみの感情である。したがって、身体の部分限定した「足がつらい」「胸がつらい」などの言い方はできない。

続いて、『現代形容詞用法辞典』（1991：368-369）は次のように記述している。

つらい〔辛い〕

① 精神的に苦痛を感じる様子を表す。

「かわいがって育てた子を手放すのはつらい」

② 冷酷で思いやりのない様子を表す。

「彼女は息子の嫁につらく当たった」「彼は世間のつらい仕打ちに耐えて育った」

また②の意味について、②の意味で用いられる時は「つらい」が動詞にかかる修飾語（「つらく当たる」）、または名詞にかかる修飾語（「つらい仕打ち」）として用いられるのが普通で、述語になることは少なく、その場合にはふつう①の意味になると指摘している（『現代形容詞用法辞典』 1991：368）。

森田と『現代形容詞用法辞典』の記述から、「つらい」は苦痛を感じる場合に用いられることが分かる。また、森田は身体の部分限定した「足がつらい」などの言い方はできないと指摘している。確かに、足に関して「つらい」という場合には、「疲労がたまり、足が張ってつらい」「足がしびれてつらい」のように、足そのものに対してというよりも、足にかかる負担によって感じる精神的ストレスを表していると考えられる。

さらに『現代形容詞用法辞典』は、「つらく当たる」あるいは「つらい仕打ち」のように、「つらい」が動詞あるいは名詞にかかる修飾語として用いられた時、「冷酷で思いやりのない様子を表す」と記述し、「つらい」のもう一つの意味（＝精神的に苦痛を感じる様子を表す）と区別している。一方、森田は「つらく当たる」「つらい仕打ち」のような例も、「部下の首を切るのはつらい」といった例と区別せず、「ある状況に置かれて、または、ある事が原因して精神的に耐えられないほど苦痛を感じる状態」と記述している。この点に関して次の二つの例を見てみよう。

- (12) (前略) 女はこの泥亀と関係を持つようになった。そうすると梅吉に辛く当たるようになり、毎日梅吉を役立たず呼ばわりした。

(石川鴻斎『夜窓鬼談』春風社 p. 411)

- (13) 学校から帰って夕方暗くなるまで働かねばならないのはつらかったが、学校で喧嘩したとき「小日本」「日本に帰れ……」と罵られるのは余計つらかった。

(井出孫六『終わりなき旅』岩波現代文庫 p. 305)

例(12)の「辛く当たる」は、「役立たず呼ばわり」するというように、梅吉が「つらい」と感じるような態度を女がとることを表している。続いて例(13)は、学校で同級生に『『小日本』『日本に帰れ……』と罵られる』ことを「つらい」と感じている。例(12)の「つらい」は例(13)のように、話し手が「つらい」と感じるような態度を相手をとることを表しているため、本研究では、「つらい」が動詞や名詞にかかる修飾語となった場合と、述語になった場合を区別しないこととする。

以上の先行研究の記述とその検討をふまえ、以下で「つらい」の意味を分析する。

### 3.2 「つらい」の意味分析

「つらい」に二つの多義的別義を認め、分析の最後に別義間の関連性について示す。

#### 3.2.1 別義1：〈身体に負担がかかり〉〈耐えられないと感じる〉〈さま〉

- (14) 自分で育てたカクメロを収穫した青山真一君(18)は「暑い温室内での作業はつらかったが、思ったより真四角な出来栄でうれしい」と喜んでいた。

(中日新聞 2010年7月6日)

- (15) やるぞ、と意気込んだのはいいが、苗を植える前かがみの姿勢がつらい。長靴が泥にはまり込み、歩くのも一苦労だ。

(中日新聞 2007年12月25日)

- (16) 花粉症で目がかゆくてつらいです。(Yahoo!知恵袋\*)

例(14)は室温が高い温室内で作業すること、例(15)は苗を植えるために「前かがみの姿勢」をとること、例(16)は目がかゆいことに「つらい」と感じている。例(14)から(16)は、

身体に負担がかかることによって「つらい」と感じているとすることができる。

次に、「つらい」とは、身体に負担がかかることでどのように感じる感情であるのかについて、次の例を見てみよう。

- (17) あなたが初めてココへ来た時、頭痛の発作で倒れましたがあの様子は異常でした。  
辛くて耐えられない程の痛みだったんでしょうね。

(尾崎晃『癒しの人』文芸社 p. 55)

- (18) 教会の中に入ると、右手の階段を上った所に、礼拝堂がありました。そこは、キリストが磔にされた場所と言われています。中にはたくさんのろうそくが灯され、その中央に磔にされたキリストの像がありました。そこに入った時でした。私は、吐き気と圧迫感に襲われ、泣き出したいぐらい体が辛くなってしまって、どうしてもそこにいることができませんでした。(うたかたの月\*)

例(17)は「辛くて耐えられない程の痛み」、例(18)は「体が辛くなってしまっ、どうしてもそこにいることができませんでした」とあることから、「つらい」は、身体に負担がかかり、耐えられないと感じるさまであると考えられる。

以上から、「つらい」の別義1は〈身体に負担がかかり〉〈耐えられないと感じる〉〈さま〉とすることができる。

### 3.2.2 別義2：〈望みと異なる良くない事態に〉〈耐えられないと感じる〉〈さま〉

- (19) 布団に入ると、いつものようにおっぱいの元に寄って来る。「ごめんね。でも今日はお薬飲んだし、あかんねん」。頭をなでながらおっぱいを隠すと、悲壮な顔つきに。抱っこしても、落ちそうなほど暴れる。あげたい。でもあげられない。こっちもつらくて涙がボロボロ。(京都新聞 2007年4月12日)

- (20) (前略) マザーは貧しい人に尽くすというこの活動を、最初はたった一人で始めたと聞く。彼女は普通の人より愛の量が多すぎて、世の中に貧しさで苦しんでいる人がいることが辛くて耐えられなかったのだろう。(インド\*)

- (21) 独特の言葉遣いや決まり事が多くて、お座敷での会話も先輩芸妓のように滑らかにできず、「つらくて何度も辞めたいと思った」(読売新聞 2011年5月1日)

まず例(19)は、文中に「あげたい。でもあげられない」とあるように、「あげたい」という気持ちに反してあげることができないことに「つらい」と感じている。続いて例(20)は、「世の中に貧しさで苦しんでいる人がいる」というのは、話し手の望みと異なる良くない事態であり、そのような事態に「つらい」と感じている。さらに例(21)は、「先輩芸妓のように滑らかに」会話したいという望みに反し、滑らかに会話できず、「つらい」と感じている。よって、例(19)から(21)は、望みと異なる良くない事態に「つらい」と感じていると

言うことができる。さらに、例(20)は「辛くて耐えられなかった」、例(21)は「つらくて何度も辞めたいと思った」とあることから、「つらい」は、望みと異なる良くない事態に耐えられないと感じるさまを表すと考えられる。

以上から、「つらい」の別義2は〈望みと異なる良くない事態に〉〈耐えられないと感じる〉〈さま〉である。

### 3.2.3 別義間の関連性について

「つらい」の二つの意味の関連性について考察する。別義1 (= 〈身体に負担がかかり〉〈耐えられないと感じる〉〈さま〉) では身体的な負担によって耐えられないと感じているが、別義2 (= 〈望みと異なる良くない事態に〉〈耐えられないと感じる〉〈さま〉) では望みと異なる良くない事態という、心理的な負担によって耐えられないと感じている。よって、別義1と2は、〈負担によって〉〈耐えられないと感じる〉〈さま〉という共通の意味を有している。また、別義1から別義2は、身体を通じた経験から、より心理的な経験へと意味が拡張していると考えられるため、別義2は別義1からメタファーによって成り立っていると言うことができる。

## 4. 「つらい」と「かなしい」の類似点と相違点について

分析結果を基に「つらい」と「かなしい」の類似点および相違点について考察する。

### 4.1 先行研究の記述とその検討

『現代形容詞用法辞典』(1991: 154-155)は、「つらい」と「かなしい」の意味について、「精神的な苦痛を表す意味で『かなしい』は『つらい』に似ているが、『つらい』は意味の範囲が広く、さまざまな感情においてたえがたいという意味を表すのに対して、『かなしい』は悲哀に限定される点が異なる」と述べている。

上の『現代形容詞用法辞典』の記述から、「つらい」と「かなしい」は「精神的な苦痛を表す」という点で意味が類似していることが分かる。また両語の意味の違いについては、「つらい」は「意味の範囲が広く、さまざまな感情においてたえがたいという意味を表す」のに対して、「かなしい」は「悲哀に限定される」点が異なると述べている。確かに、次の例のように、身体に負担がかかることによって苦痛を感じることを「つらい」と表現することはできるが、「つらい」を「かなしい」に置き換えると不自然な表現となる。

(22) 花粉症で目がかゆくてつらい (??かなしい) です。 (= (16))

『現代形容詞用法辞典』の記述により、「かなしい」は「悲哀」を表すのに対し、「つらい」は「かなしい」よりも「意味の範囲が広く、さまざまな感情においてたえがたいという意味を表す」という違いがあることを確認した。以下では、その他の相違点について考察する。



## 4.2 「つらい」と「かなしい」の類似点と相違点について

- (23) 「女の子にとって髪はすごく大切。どんどん抜けていく悲しい (つらい) 気持ち、わからないでしょう。」 (= (4))

例(23)は、大切な髪が抜けていくことに「かなしい」と感じている。例(23)の「かなしい」を「つらい」に置き換えてもその語を含む文の意味が大きく異ならない。ここでの「つらい」は、別義2 (= 〈望みと異なる良くない事態に〉〈耐えられないと感じる〉〈さま〉)を表すことから、「かなしい」と「つらい」の別義2に互換性があると考えられる。また、それらの共通の意味は、〈思いと異なる良くない事態に〉〈精神的苦痛を感じる〉〈さま〉とすることができる。

次に、「かなしい」と「つらい」の別義2の相違点について考察する。

- (24) 政治家と親密な関係を持たない公務員にとって、自分の業績を政治家に見落とされることはとても辛い (??かなしい)。政治家に評価されなければ、せっかくの仕事が昇進のポイントにならないからだ。だから通常、平均的公務員は、自分の職務に関わっている政治家の利益に反するような行為は避けたがる。  
(巨大市場インドのすべて\*)
- (25) 一時とはいえ母親代わりとして育ててきた子供と別れるのは、きっと身を切られるように辛い (??かなしい) ことだったに違いない。  
(後藤真理子『マリベルーマヤの国から来た天使』文芸社 p. 7)

例(24)は「自分の業績を政治家に見落とされる」こと、例(25)は「子供と別れる」ことを「つらい」と感じているが、例(24)と(25)の「つらい」を「かなしい」に置き換えると不自然な表現となる。例(24)では、「つらい」と感じる理由は「政治家に評価されなければ、せっかくの仕事が昇進のポイントにならないからだ」とあるように、話し手の望みと異なる良くない事態によって、話し手が大きなダメージを受けるため、耐えられないと感じている。また例(25)では、「子供と別れる」ことは「身を切られるように辛い」とあるように、子供と別れることにより、「身を切られる」ほどの精神的ダメージを受けるため、耐えられないと感じるさまを表している。例(24)と(25)から、「つらい」の別義2は、大きな精神的ダメージを受けることによって、耐えられないと感じるさまを表すと言うことができる。

一方の「かなしい」は、気持ちが沈むさまを表すのであって、大きな精神的ダメージを受けることにより、耐えられないと感じるさまを表すのではない。この点について次の例を見てみよう。

- (26) 八月の白山市内での交通死亡事故は二件。いずれも 157 号だ。悲しい (??つらい)

事故が続いている。 (中日新聞 2009年9月4日)

(27) 私はちよっぴり哀しく (??つらく) なった。室さんと私は、所詮そういう宿命のめぐりあわせでしかないのか。 (演歌の虫\*)

例(26)は、他人が交通事故で死亡したことに「かなしい」と感じている。例(26)のように、自身にはあまり関係のない悲劇に対して「かなしい」と表現することはできるが、「かなしい」を「つらい」に置き換えると不自然な表現となる。また、例(27)のように、「つらい」が、程度が低いさまを表す「ちよっぴり」という副詞と共起すると不自然な表現となるのも、「つらい」が表す精神的苦痛が大変強いものであるからであると考えられる。

以上から、「かなしい」と「つらい」の別義2が類似しており、〈思いと異なる良くない事態に〉〈精神的苦痛を感じる〉〈さま〉という共通の意味を有するが、「つらい」が表す精神的苦痛というのは耐えられないというように、大変強いものであるのに対し、「かなしい」が表す精神的苦痛は「つらい」のように強いものではないという違いがあると言える。

## 5. まとめ

本研究では「かなしい」と「つらい」の意味を次のように記述した。

「かなしい」の意味： 〈思いと異なる良くない事態に〉〈気持ち沈む〉〈さま〉

「つらい」の意味

別義1： 〈身体に負担がかかり〉〈耐えられないと感じる〉〈さま〉

別義2： 〈望みと異なる良くない事態に〉〈耐えられないと感じる〉〈さま〉

また、「かなしい」と「つらい」の意味の類似点と相違点について、「かなしい」と「つらい」の別義2が類似しており、〈思いと異なる良くない事態に〉〈精神的苦痛を感じる〉〈さま〉という共通の意味を有するが、「つらい」が表す精神的苦痛というのは耐えられないというように、大変強いものであるのに対し、「かなしい」が表す精神的苦痛は「つらい」のように強いものではないという違いがあると述べた。

## 文献

遠藤織絵、小林賢次、三井昭子、他（編）（2003）『使い方の分かる類語例解辞典』、小学館  
金田一春彦、池田弥三郎（編）（1988）『学研国語大辞典（第二版）』、学習研究社  
飛田良文、浅田秀子（1991）『現代形容詞用法辞典』、東京堂出版  
森田良行（1977）『基礎日本語 I』、角川書店